

意見書

2008年 3月 4日

淀川水系流域委員会 殿

伊賀市 古川 光彦

淀川水系河川整備計画案の川上ダム早期着工と、完成の立場で意見申し上げます。

木津川上流域では、現在に至るまで伊賀盆地では多数の災害がありました。その対策として岩倉峡開削を論議して来たが、下流域（大阪府、京都府）と、当時の建設省と当地域の人々と利害調整の結果、上流部にダムと伊賀市内に遊水地を作ることをセットとして、建設することで対応出来ると計画されました。この間約40年の歳月を費やしましたが、いまだ完成の運びになっていません。遊水地の地権者、ダム建設予定地の方々も、大切な私有財産を提供し、全村を挙げて移転、地役権設定登記も完了しています。その間環境問題等も含めて論議しつつ2008年になりました。この事業を一日も早く、着工、完成させ水害から生命財産を守ることを切望します。又ダム本体の規模も、地球温暖化による集中豪雨、大型台風等も考えられるのでそれに耐える様縮小せずに当初計画された様に施行してください。